

(10) カリフラワー

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 苗立枯病 <i>Rhizoctonia solani</i>	1. 床土は排水のよい無病のものを選ぶ。 2. 換気を良好にし、床内を乾かす。			
2 軟腐病 <i>Pectobacterium carotovorum</i>	1. 連作を避ける。 2. 窒素質肥料の過剰施肥を避け、適正施肥をする。 3. 排水を良好にする。 4. 発病株は早期に処分する。 5. 播種後から30日間の防虫ネット被覆が有効である。	本 薬 9 ～ 10 枚	31	ス タ ー ナ 水 和 剤
3 黒すす病 <i>Alternaria brassicicola</i>	1. 通風、排水を良好にする。			
4 黒腐病 <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>campestris</i>	1. 連作すると多発するので、最低2年輪作する。 2. 発病株を除去し、収穫後の残茎葉は集めて土中に埋める。 3. 排水を良好にする。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 苗床では初発から散布する。 2. 強風や虫害による傷口から侵入して発病することが多いので、害虫を防除する。	初発生期から 発蕾期まで	M1 M1 M1	Z ボ ル ド ー コ サ イ ド 3 0 0 0 ヨ ネ ポ ン 水 和 剤
5 根こぶ病 <i>Plasmodiophora brassicae</i>	1. 苗床は無病な土を使用する。 2. 前年発生したところでは連作を避け、アブラナ科以外の作物との3年以上の輪作をする。 3. 石灰窒素を施用し、土壌の酸度を6以上に矯正する。 4. 圃場の排水を良好にし、低湿地や排水不良地での作付けを避ける。 5. 発病株は根部を含めて、完全に除去する。 〈薬剤使用の特記事項〉 ●定植前 1. 石灰などとの併用で、より高い効果が得られる。	は 種 ま た は 定 植 前	29 36	フ ロ ン サ イ ド 粉 剤 ネ ビ ジ ン 粉 剤
		定 植 前	21 21 29 36	オ ラ ク ル 顆 粒 水 和 剤 オ ラ ク ル 粉 剤 フ ロ ン サ イ ド S C ネ ビ リ ユ ウ
6 ベと病 <i>Peronospora parasitica</i>	1. 窒素質肥料の過用や肥料不足を起こさないよう、適正施用をする。 2. リン酸が少なく、カリの多い畑に発病が多い。 3. 排水を良好にする。 4. 発病株は早期に処分する。 5. 収穫後の病茎葉は集めて土中に埋没する。	初 発 生 期 か ら	21 M5	ラ イ メ イ フ ロ ア ブ ル ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0
7 菌核病 <i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	1. 発病株は早期に発見し、菌核ができる前に抜き取って圃場外で処分する。 2. 連作を避ける。 3. 夏期に湛水可能な圃地は、高温時に20日間以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。	発 生 初 期	1	バ ン レ ー ト 水 和 剤
8 アブラムシ類	1. 紫外線反射資材を用いると、成虫の飛来を軽減することができる。 2. 育苗床では防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。	育 苗 期 後 半	4A	ア ク タ ラ 粒 剤 5
		定 植 時	4A	ベ ス ト ガ ー ド 粒 剤
		発 生 初 期	3A 4A 4A 4A 29	ア デ ィ オ ン 乳 剤 モ ス ピ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤 ア ク タ ラ 顆 粒 水 溶 剤 ベ ス ト ガ ー ド 水 溶 剤 ウ ラ ラ D F

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

カリフラワー

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
9 モンシロチョウ (アオムシ)	1. 育苗床では防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 2. 幼虫は見つけしだい捕殺する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. アファーム乳剤はオオタバコガにも登録がある。	育苗期後半 ～定植当日	28	プレバソンフロアブル 5
		若 齢 幼 虫 期	4A	モスピラン顆粒水溶剤
			5	デ イ ア ナ S C
			6	ア フ ァ ー ム 乳 剤
			11A	ト ア ロ ー 水 和 剤 C T
			11A	ト ア ロ ー フ ロ ア ブ ル C T
			11A	バ シ レ ッ ク ス 水 和 剤
			11A	ゼ ン タ ー リ 顆 粒 水 和 剤
			11A	デ ル フ ィ ン 顆 粒 水 和 剤
			11A	エ ス マ ル ク D F
			11A	フ ロ ー バ ッ ク D F
			11A	チューンアップ顆粒水と和剤
			11A	サブリナフロアブル
			28	プレバソンフロアブル 5
10 ヨトウムシ	1. 育苗床では防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 2. 幼虫は見つけしだい捕殺する。	若 齢 幼 虫 期	1B	オルトラン水と和剤
			5	デ イ ア ナ S C
			11A	ト ア ロ ー 水 和 剤 C T
			11A	バ シ レ ッ ク ス 水 和 剤
			11A	ゼ ン タ ー リ 顆 粒 水 和 剤
			11A	エ ス マ ル ク D F
			11A	フ ロ ー バ ッ ク D F
			11A	チューンアップ顆粒水と和剤
			11A	サブリナフロアブル
			UN	プレオフロアブル
11 ハスモンヨトウ	1. 育苗床では防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 2. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	育苗期後半 ～定植当日 若 齢 幼 虫 期	28	プレバソンフロアブル 5
			5	デ イ ア ナ S C
			6	ア ニ キ 乳 剤
			11A	バ シ レ ッ ク ス 水 和 剤
			11A	ゼ ン タ ー リ 顆 粒 水 和 剤
			11A	デ ル フ ィ ン 顆 粒 水 和 剤
			11A	フ ロ ー バ ッ ク D F
			11A	サブリナフロアブル
			28	プレバソンフロアブル 5
			UN	プレオフロアブル
12 シロイチモジヨトウ	1. 飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。	若 齢 幼 虫 期	30	ブ ロ フ レ ア S C
13 タマナギンウワバ	1. 育苗床では防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 2. 幼虫は見つけしだい捕殺する。	若 齢 幼 虫 期	11A	バ シ レ ッ ク ス 水 和 剤
			30	ブ ロ フ レ ア S C
14 コナガ	1. 紫外線反射資材を用いると、成虫の飛来を軽減することができる。 2. 育苗床では防虫ネット（2mm目合以下）で被覆する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. アファーム乳剤はオオタバコガにも登録がある。	若 齢 幼 虫 期	5	スピノエース顆粒水と和剤
			5	デ イ ア ナ S C
			6	ア フ ァ ー ム 乳 剤
			6	ア ニ キ 乳 剤
			11A	ト ア ロ ー 水 和 剤 C T
			11A	ト ア ロ ー フ ロ ア ブ ル C T
			11A	バ シ レ ッ ク ス 水 和 剤
			11A	ゼ ン タ ー リ 顆 粒 水 和 剤
			11A	デ ル フ ィ ン 顆 粒 水 和 剤
			11A	エ ス マ ル ク D F
			11A	フ ロ ー バ ッ ク D F
			11A	チューンアップ顆粒水と和剤
			11A	サブリナフロアブル
			13	コテツフロアブル
			UN	プレオフロアブル
			21A	ハチハチフロアブル

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

カリフラワー

防除法 病虫害名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
15 ネキリムシ類	1. 被害株周辺土中の幼虫が潜む穴を見つけ捕殺する。 2. 作付け前の圃場の除草処理を徹底する。	生 育 初 期	3A	ガ ー ド ベ イ ト A
16 ハイマダラノメイガ (ダイコンシンクイムシ)	1. 秋播栽培では早播きしない。 2. 育苗床では防虫ネット（2mm目合以下）で被覆する。 3. プロフレアSCははなやさい類で登録がある。	発 生 初 期	5 11A 30	デ イ ア ナ S C チューンアップ顆粒水和剤 プロフレアSC
17 アザミウマ類	1. 紫外線反射資材を用いると、成虫の飛来を軽減することができる。 2. 育苗床では防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. グレーシア乳剤はネギアザミウマで登録がある。	育 苗 期 後 半	4A	ベ ス ト ガ ー ド 粒 剤
		発 生 初 期	4A 5 30	ベ ス ト ガ ー ド 水 溶 剤 デ イ ア ナ S C グ レ ー シ ア 乳 剤